

<現状>

県内のデジタル人材は約7万人不足
(うちユーザー側で約6万人不足)

※2021年度愛知県推計

<課題>

- ・ デジタル人材が質・量ともに不足
- ・ デジタル技術の習得・学び直しの機会の不足
- ・ 未来の産業を担うデジタル人材の育成が必要



「あいちデジタル人材育成アクションプラン」(2022年3月策定)

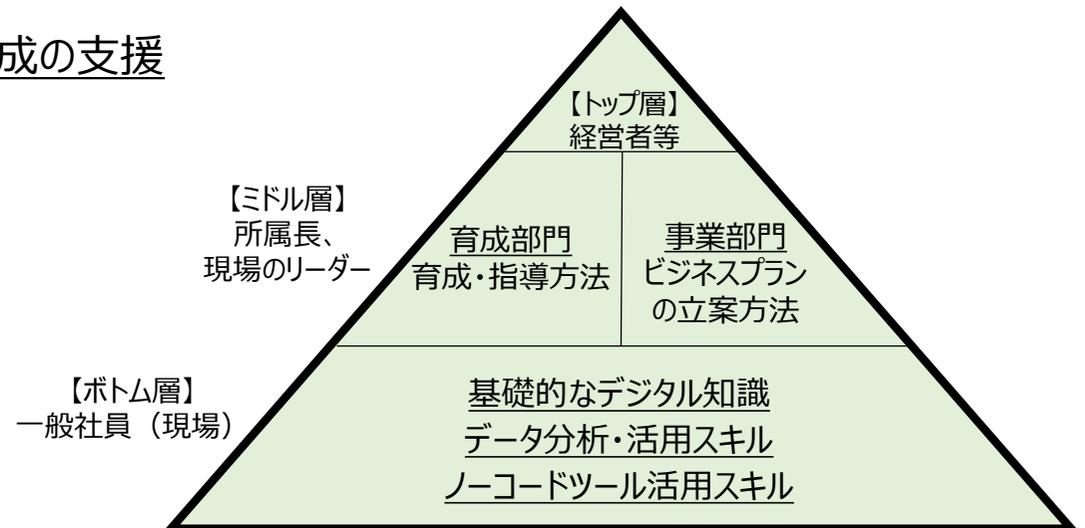
3つの柱：①「中小企業への支援」 ②「離転職者への支援」 ③「未来の産業を担う人材への支援」

中小企業への支援

・中小企業をはじめとする企業内のデジタル人材育成の支援

- 階層別研修の実施
- 在職者訓練の定員の過半数でデジタル関連の訓練を実施
- 社内研修カリキュラムの作成から研修の実施、終了後のフォローアップまでの伴走支援
- デジタル・IT活用の専門家が助言・指導を行うアドバイザー派遣の実施

<デジタル人材育成体系イメージ>



デジタル人材の育成に係る取組

離転職者への支援

・離転職者へのデジタル関連訓練の充実と企業へのマッチング

- 県立岡崎高等技術専門校に**3Dモデリング科**（2022年度～）、**ロボットシステム科**（仮称）（2025年度～）を新設
- 雇用セーフティネット対策訓練の過半数で、**プログラミング等のデジタル活用分野の訓練を実施**
- **産業界と連携してデジタル人材育成カリキュラムを共同開発し、産業界のニーズに応じた人材育成と就職支援を実施**（「現場で役立つプログラミング科」、「基礎が身につくITビジネス科」）

未来の産業を担う人材への支援

・未来の産業を担うデジタル人材育成

- 小中学生を対象に、**ロボット製作とプログラミング制御を競い合う競技大会を実施**



2023年度Junior Skills
「アイチータ杯」
（小学生の部）



2023年度Junior Skills
「アイチータ杯」
（中学生の部）